

---

# ロングストーリー

たかやん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ロングストーリー

### 【Nコード】

N6184C

### 【作者名】

たかやん

### 【あらすじ】

カオスガイアを突然襲った大きな揺れ。その揺れに世界全体がゆれた。そして小さな島の小さな村シャパル。この村の生き残りキルは旅立った。そして、キルの幼馴染みサラは生きているのか生きる意味とは何か今、運命の歯車が周りはじめた。ロングストーリー

## プロローグ(前書き)

初めてなんであんまりうまくないですが、よろしく願いします m  
—— ( m

## プロローグ

僕たちは

何のために生きて

何のために

死ぬのだろう

この世のすべてに

意味があるなら

知りたい

僕たちが生きる

この意味を

この世界は、30億年前に誕生した。

名は『カオスガイア』

そして、この世界が誕生して10億年がたった頃、世界はもう完成していた。

数多くの生物が住み、人類も数多くすんでいた。

そして、人類は知恵をつけ世界を欲望のままに変化させた。

カオスガイアの島、シャパルにすむ15歳の少年だ。  
キルは、家で見つけた古い本を村の子供たちと一緒に読んでいた。

「ねえ…カオスガイアってこの世界の事お？」

子供たちの中の女の子が首を傾けながら訪ねる。

「そりゃわかんねえけど…たぶんそうだろ！名前いつしよだし」

キルは立ち上がり、自信満々に言った。

すると子供たちはカオスガイアと叫びながら遊び始めた。

「ちょっと、また何か吹き込んでんじゃないでしょうね？」

キルの後ろから15歳くらいの少女が腕を組みながらじととキルを見て声をかけた。

サラ・レモネードだ。

キルとは同じ年で、生まれてすぐにキルと出会った。

いわゆる幼馴染みだ。

「ふつ。優しい俺が本を読んでやったただだよ」

サラをからかうように見ながら、わざとかつこつける。

と、いきなりキルの顔にボールが直撃し、倒れた。

「ごめん、キル兄…！」

「いってえ…！」

「変にかっこつけるからよ…バカ」

倒れたキルにボールをぶつけた子供が駆け寄った。

サラは倒れるキルを見ながらため息をつく。

「あ……そうだ…！ちょっとキル…！バカな事やってないで早く来て…！」

サラは何か思い出したようにキルを引っ張り立ち上がらせる。

「…と…。急になんだよ…？」

「長老が呼んでんの…！しかも何か怒ってるし」

長老が怒ってるというのに何か思いあたる節があるのか、キルはゲツと思った。

そして二人は村の真ん中にある大きな木の家へついた。

「失礼します…」

サラとキルは恐る恐るドアを開けた。

「キルーツ！！！！」

開けた瞬間、低い唸り声のような長老の声が家の中にこだました。

キル達は耳を塞ぎ目を塞いだ。

「ここへ座れ！！」

長老は自分の座ってる目の前の床を指差した。

キル達はそつと座った。

「キルよ…、お前という奴は何度もなん…！！？」

ドドドドドドドドッ！！！！

「な！！なんだああ！？」

いきなりものすごい音を放ちながら地面が揺れ始めた。

地は割れ、家へ崩れ、木は倒れ、海は荒れ、カオスガイア全体が揺れた。

どのくらい揺れてただろう。

揺れがおさまったが、シャパルはもう崩壊していた。

そして何時間かたって、キルは目を覚ました。

「…ぐあぁっ!!」

起き上がろうとしたキルの右腕に激痛が走った。

なんとキルの右の腕の肘からしたがなくなっていた。しかし、なぜか血は止まっていた。

「な…なんだ…よ…これ」

あまりの光景にキルは気が狂いそうになった。

「そ、そうだ…サラ!? 誰か!？」

我に戻りキルは、呼び掛けながら周りを見た。

しかし、生きてる者が誰もいない。

その死んでしまった者の中にサラの姿はなかった。

「こんな……こんなことって……ふ、ふざけんなあああ!!!!!!」

キルは腹の底から叫んだ。

そして立ち上がり、崩壊したシャパルを見回した。

その瞬間、キルに変化が起こった。

何か、感情を一つ失ったようなそんな変化が…

キルは…そのままシャパルを出た。

## プロローグ（後書き）

ありがとうございました m ( ) m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6184c/>

---

ロングストーリー

2010年12月29日02時13分発行